
訪問販売

VISIA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

訪問販売

【コード】

N44580

【作者名】

VISIA

【あらすじ】

……は、いいませんか？

(前書き)

玄関の方から、男の声が聞こえてきた。

……お客さんかな？

玄関の汚れたドアを開けると、黒い鞆を前で両手持ちした小柄な男が立っていた。

「私は、トイレのセールスをしている者です…」
「間に合ってます。」

「話だけでも…」
「間に合ってます。」

強引にドアを閉めようとした時、一瞬男の目が大きく見開かれた。

「話を聞いて頂けますね？」
「…う……はい。」

体が急に重くなり、立っていられなくなって、その場に座り込め
しまった。

男がニコニコしながら中に入って来て、玄関のドアを閉めた。
そして、鞆を開け自分の前にパンフレットを並べていく。

「新商品のウォッシュレットで御座います…」
「…。」

「水流の強弱だけではなく、感覚まで変えられるようになりまして…」

- ・舌で舐めて貰う感覚
- ・指で拭く感覚
- ・新聞紙で拭く感覚

などなど、様々なモードを用意しております。」

「……………」

「…勿論、豊富なカスタマイズメニューを用意していますので、水流を太さ15センチまで広げる事なども可能ですよ。」

「……………」

「そうですね、有難う御座います。では、此方が契約書です。」

「……………」

「はい、確かに。では、工事は既に済みましたので、ご確認下さい。」

「

「……………」

「振り込み、有難う御座います。此方が領収書です。では、何かありましたらコチラに連絡下さいませ。」

名刺を渡された時、重い体が自由に動くようになった。

男は、既に帰ってしまっていた。

(後書き)

トイレのドアを開けると、便器が金色になっていた。
その隣に取扱い説明書が置いてあった。

最強モードにすると、世界的に有名な滝並みの水流に出来るらしい。

試してみた。

大きい方を排出したあと、説明書を見ながら水流の設定をしていき、ドキドキしながらボタンを押した。

すると、激しい水流に体を飛ばされ、天井に頭をぶつけてしまった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4458o/>

訪問販売

2010年10月22日15時25分発行